

白鶴美術館 2021 年秋季展開催

2021年9月23日（祝・木）から12月12日（日）まで

三年ぶりの中国青銅器展！（重要文化財8点等）、絨毯展示も同時開催！

公益財団法人白鶴美術館（神戸市、1934年開館）では、9月23日（祝・木）から2021年秋季展覧会を開催します。当館は、中国青銅器の所蔵館として世界的に知られています。今回は、「円（まる）」と「方（四角）」という造形の基本要素に着目して40点余りの青銅器を展示し、その汎用性ある造形美と制作背景の関わりについて紹介します。

また、絨毯専門の美術館である新館では、^{まる}円い造形であるメダリオン文様に着目してアナトリアとコーカサスの絨毯計22点を展示し、その多様なバリエーションについて紹介します。

会期中には、講演会やワークショップなど、来館者が自由に参加できる各種イベントも開催します。

開催概要

- 【本館】 「中国青銅器—^{えん ほう}円と方の協調美—」
- 【新館】 「アナトリア・コーカサスの絨毯—多様なメダリオン—」
- 【期間】 2021年9月23日（祝・木）～12月12日（日）
- 【休館日】 毎週月曜日 但し、10月11日（月）は開館、10月12日（火）を休館
- 【開館時間】 午前10時～午後4時30分（入館は午後4時まで）
- 【入館料】 大人：800円／65歳以上・大学・高校生：500円／中学・小学生：250円
（大人、大学・高校・中学・小学生団体20名以上は2割引き）

主な展示品



重要文化財 ^{とうてつきりゆうもんほうゆう}饗饗夔龍文方缶
中国・殷（商）時代
世界的に知られる逸品
円と方の協調美を示す



^{きんざう がん か うん もんたい}金象嵌渦雲文敦
中国・戦国時代
不可思議な球形の青銅器



カザック カラチョフ コーカサス
1900年頃
多様なメダリオン文様を表す優品

【白鶴美術館とは】

「世界的価値のあるコレクションを私蔵するのではなく、ひとりでも多くの方の目に触れてほしい。」

白鶴美術館は、そんな願いを持った嘉納治兵衛（鶴翁・白鶴酒造7代）によって昭和9年（1934年）に開館されました。古美術品500点で出発した当館は現在、国宝2件（75点）、重要文化財22件（39点）を含む約1450点以上の作品を所蔵。戦争と空襲、大震災など幾多の苦難を乗り越えて、価値ある古美術品を現在に残しています。



1934年開館の美術館本館

展覧会に伴うイベント情報

講演会「製作技術からみた中国青銅器」

日時：11月7日（日） 午後2時～3時30分

講師：奈良文化財研究所主任研究員 丹羽崇史氏

新館レクチャー「17-18世紀インドの絨毯をみながら」

日時：10月24日（日） 午後2時～3時30分

講師：メトロポリタン美術館終身名誉館員 梶谷宣子氏

文化財特別セミナー「道具にみる—ある表具師の仕事」

日時：11月21日（日） 午後1時～3時

講師：（株）清華堂会長・表具師 岡本吉隆氏

ワークショップ「クルッと反転！ 紙が要のミニ屏風」

日時：11月14日、21日、28日の各日曜日 午後1時～3時

指導員：甲南大学ワークショップ指導員

アート・トーク「中国青銅器の円と方」

日時：12月12日（日） 午後1時～3時

講師：当館学芸員

スライド解説「展示品にみる円と方」

日時：9月26日、10月10日、11月14日、28日の各日曜日 午後2時～3時

講師：当館学芸員

アクセス

〒658-0063 神戸市東灘区住吉山手6-1-1

- ・ 阪急御影駅から北東約1km（徒歩約15分）
- ・ 無料駐車場あり（大型バスも可）
- ・ 阪神御影駅、JR住吉駅から市バス38系統渦森台行「白鶴美術館前」

本件に関するお問い合わせ

学芸課：海原・田林

〒658-0063 神戸市東灘区住吉山手6-1-1 Tel/Fax: 078-851-6001



中国青銅器

円と方 の協調美



2021年
9月23日(祝木)

12月12日(日)

■ 休館日 月曜日

但し10月11日(月)は開館、10月12日(火)を休館

■ 入館料

大人：800円

65歳以上・大学：高校生：500円

中・小学生：250円

(大人・大学・高・中・小学生団体20名以上は2割引)

講演会

日時：11月7日(日) 午後2時～3時30分

テーマ：製作技術からみた中国青銅器

講師：奈良文化財研究所主任研究員 丹羽崇史 氏

文化財特別セミナー

日時：11月21日(日) 午後1時～3時

テーマ：道具にみる一ある表具師の仕事

講師：(株)清華堂会長・表具師 岡本吉隆 氏

新館

アナトリア・コーカサスの絨毯 — 多様なメダリオン —

新館レクチャー

日時：10月24日(日) 午後2時～3時30分

テーマ：17-18世紀インドの絨毯をみながら

講師：メトロポリタン美術館終身名誉館員 梶谷宣子 氏

[ワークショップ] 11/14・21・28の各日曜日、午後1時～3時

[アートトーク] 12/12(日) 午後1時～3時

[スライド解説] 9/26、10/10、11/14・28の各日曜日、午後2時～3時

*団体でご来館の際には、事前にお電話にてご確認ください。
*イベントは要入館料、定員40名、状況に応じて中止する場合があります。



中国青銅器 と方 の協調美

中国の古代文化を象徴する青銅器。その器形は円形と方形（四角形）の二要素を基本とします。両要素の調和は、当館所蔵の重要文化財「饗養夔龍文方卣」において見事に果たされています。それは、古代中国人の「天が円く、地が四角」という世界観をも想起させます。もとより円と方は図形の根幹を成す形象であるため、この時代の美術においてもこれらを上手に表現することが課題となつていきます。

本展覧会では、白鶴コレクションを代表する中国青銅器の優品を展示し、その汎用性のある造形美と制作背景の関わりについて紹介します。



重要文化財 饗養夔鳳文方尊(栄子尊)
中国 西周時代



重要文化財 饗養夔龍文方卣
中国 殷(商)時代



重要文化財 饗養文方彝(史路)
中国 殷(商)時代



金象嵌渦雲文敦
中国 戦国時代

新館

アナトリア・コーカサスの絨毯 — 多様なメダリオン —

メダリオンとは、絨毯に表されるメダル形のことで、主に絨毯中央にひとつ大きく円形を表したものは、メダリオン絨毯と呼ばれており、ペルシア絨毯および、ペルシア絨毯に影響を受けたデザインとして広がった形式とみられています。

ただし、メダリオンは中央ひとつ置きのものだけではなく、複数のメダリオン（メダル形）を配した形式があり、特に、幾何学的な文様を得意とするアナトリアやコーカサスの絨毯では、多角形の多様なバリエーションがみられます。

今回は、アナトリア、コーカサスのメダル形デザインを中心にをご紹介します。



カザック カラチョフ コーカサス
1900年頃



ヘレケ アナトリア中央部
20世紀後期

講演会

日時: 11月7日(日) 午後2時~3時30分
テーマ: 製作技術からみた中国青銅器
講師: 奈良文化財研究所主任研究員 丹羽崇史氏

新館レクチャー

日時: 10月24日(日) 午後2時~3時30分
テーマ: 17-18世紀インドの絨毯をみながら
講師: メトロポリタン美術館終身名誉館員 梶谷宣子氏

文化財特別セミナー

日時: 11月21日(日) 午後1時~3時
テーマ: 道具にみる一ある表具師の仕事
講師: (株)清華堂会長・表具師 岡本吉隆氏

ワークショップ

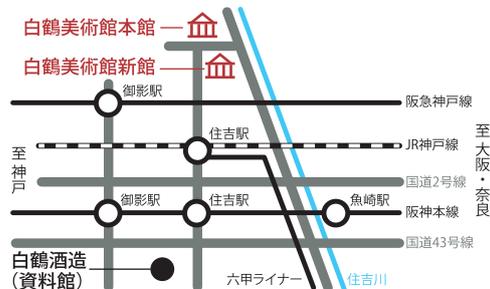
日時: 11月14日、21日、28日の各日曜日 午後1時~3時
テーマ: クルッと反転! 紙が要のミニ屏風
指導員: 甲南大学ワークショップ指導員

アート・トーク

日時: 12月12日(日) 午後1時~3時
テーマ: 中国青銅器の円と方
講師: 当館学芸員

スライド解説

日時: 9月26日、10月10日、11月14日・28日の各日曜日
午後2時~3時
テーマ: 展示品にみる円と方
講師: 当館学芸員



- 阪神本線「御影駅」、JR神戸線「住吉駅」から市バス38系統渦森台行き「白鶴美術館前」下車
 - 阪急神戸線「御影駅」から 北東約1km(徒歩15分)
 - お車でお越しの場合
阪神高速道路3号神戸線 大阪方面「魚崎出口」から約1.5km
姫路・明石方面「摩耶出口」から約6km
- *無料駐車場あり(大型バスも可)

*団体でご来館の際には、事前にお電話にてご確認ください。
*イベントは要入館料、定員40名、状況に応じて中止する場合があります。

次回春季展は2022年3月5日(土)から開催予定です。

公益財団法人
白鶴美術館
HAKUSURU FINE ART MUSEUM

〒658-0063 神戸市東灘区住吉山手 6-1-1
お問い合わせ先
TEL / FAX 078-851-6001